

国道3号東比恵地区無電柱化に伴う ワシントニアパームの撤去について

- 国土交通省福岡国道事務所が管理する国道3号二又瀬～東比恵間約2 kmの中央分離帯に植栽されているワシントニアパームについては、植栽後（昭和38年）、既に50年以上が経過しています。この老朽化したワシントニアパームについては、地域の方々や樹木医等からなる街路樹連絡会において、維持管理方針を決定（H19.9）し、以降順次、撤去を進めてきたところです。（47本（H19）→24本（現在））
- この度、東比恵地区に残るワシントニアパーム16本について、地域の防災や景観形成等のために進めている無電柱化事業に伴い、中央分離帯に電線を埋設する必要があるため、年内に全て撤去することとしました。
- なお、今回の撤去については、地域の方々に説明し、既に了解を頂いており、撤去後の中央分離帯のデザインについても、今後、地域の方々の意見を伺いながら検討してまいります。

《問合せ先》

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所

電話 : 092-681-4731 (代表)

技術副所長 つじ よしき 辻 芳樹 (内線 205)

管理第二課長 たぐち ひろし 田口 仁 (内線 441)



福岡国道

国土交通省九州地方整備局
福岡国道事務所

(参考1) 国道3号東比恵地区 無電柱化に伴うワシントニアパームの撤去について

位置図



この背景地図データは、国土地理院の電子国土Webシステムから提供されたものである。

沿道の現状



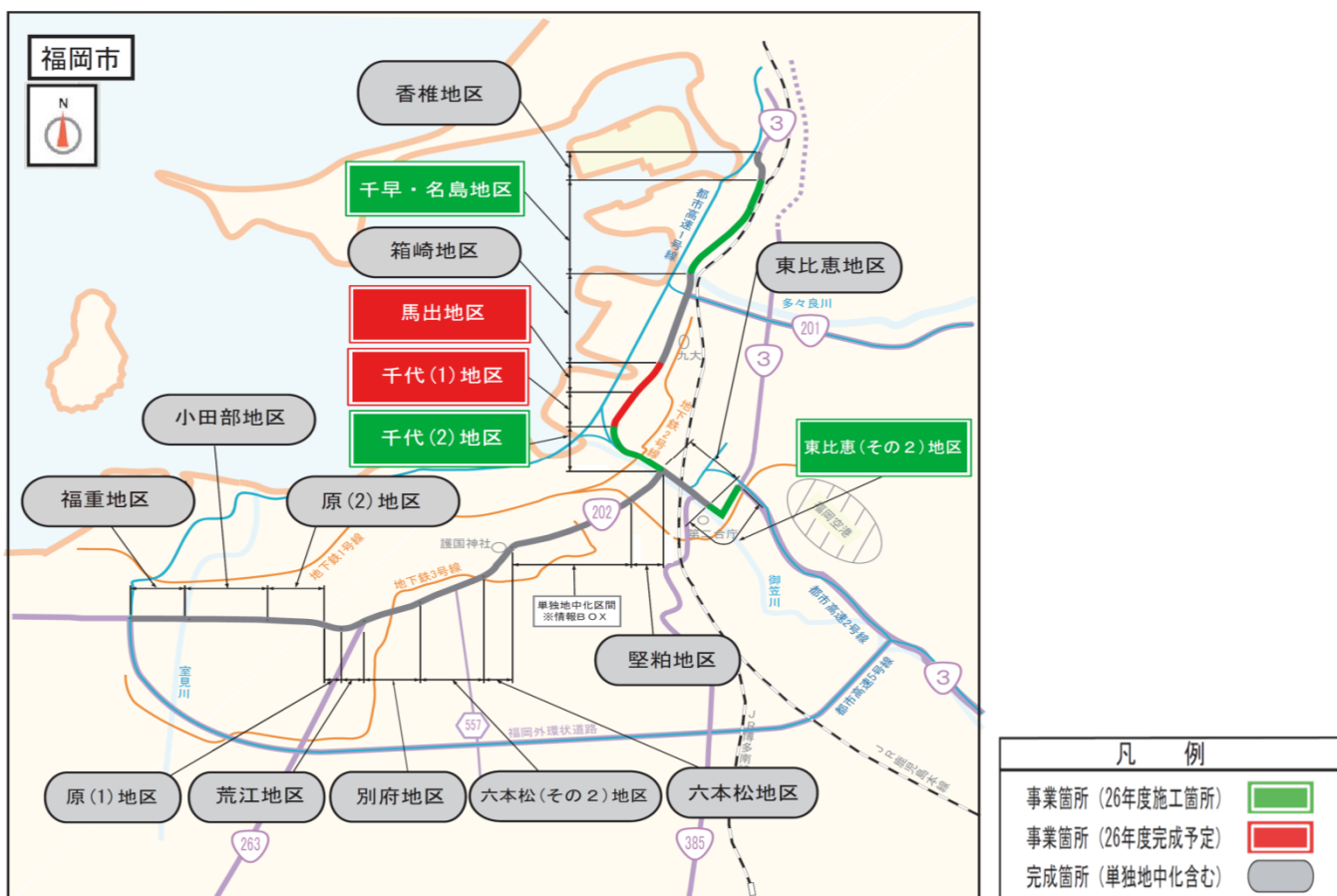
(参考2)

福岡市内の無電柱化事業の状況

- 道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成、観光振興等の観点から無電柱化を推進しています。
- 福岡市内の直轄国道では、下図のとおり約10.7kmの電線類地中化の整備が完了し、現在、約6.8kmが事業中です。



電柱の倒壊による道路閉塞



福岡市内の直轄国道における無電柱化の状況